



# 銀山街道・陰陽結ぶ銀の道

地域資源を活かした広域的な地域づくりを目指して



令和3年度 ちゅうごく街道交流会議

銀の道広域連携実行委員会

棗田 澄子



## ■活動エリアと地域資源



# 銀山街道・陰陽結ぶ銀の道

地域資源を活かした広域的な地域づくりを目指して



大田市【大森代官所跡】



美郷町【十王堂付近竹林】



世羅町【大田庄】



尾道市【浄土寺山展望台から】



飯南町【森林セラピー】



三次市【鶺鴒】



府中市【出口通り】



福山市【鞆の浦】



笠岡市【干拓地とひまわり】



井原市【与一を偲ぶ古典芸能祭】

### ●活動エリア

戦国時代後期から江戸時代前期にかけて、最盛期には世界の銀の約3分の1を産出したと言われる「石見銀山」。その「石見銀山」で産出された銀鉱石や銀地金を荷出港である鞆ヶ浦、温泉津(共に島根県)、尾道(広島県)、笠岡(岡山県)へ陸路で運ぶために利用されていたのが「銀山街道」です。

島根県・広島県・岡山県の3県にまたがった「銀山街道」沿線10市町が活動エリアです。

### ●地域資源

「銀山街道」は、長年の環境変化により当時の道からは様変わりしているものの、部分的に古道として残されています。

歴史の息づく大自然の中を歩く「やなしお道」や、3本の川が合流する水陸交通の要衝として栄えた三次市の「鶺鴒」、中国山地の分水嶺にあたる峠や律令時代に国府が置かれた古都府中など、歴史的景観や風土を残すところが数多く残されている他、雄大な自然が感じられる景観なども魅力です。

平成25年度登録



## ■夢街道ルネサンス認定地区との連携

銀山街道沿線における個別の地域活動については、夢街道ルネサンスに認定されている7地区との連携により活動を展開



世界へ続く道  
「銀の道」

美郷町石見銀山街道



銀で栄えた天領の町

美郷町石見銀山街道



石州街道出口通り



銀山街道屈指の難所「赤名峠」を  
目前にした宿場町

銀山街道赤名宿



出雲と備後を結ぶ  
交通の要衝

銀山街道 室宿～布野宿



3本の川が合流する、  
水陸交通の要衝

いこしえの里 三次物怪・  
でこ街道



交わる街道が育んだ  
備後東端の歴史と文化のまち

かななべ浪漫街道

## ■地域の推進体制

### 銀の道広域連携実行委員会「民間団体」民間

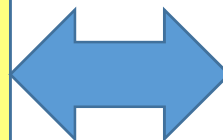
#### 沿線地域の民間団体(28団体)

NPO法人、ガイドの会、道の駅、観光施設など

NPO法人ひろしまね、島県立大学総合政策学部、石見銀山ガイドの会、美郷町銀山街道を護る会、飯南町銀山街道を訪ねる会、三次町歴みち協議会、吉舎町体験交流旅づくりの会、NPO法人広島・せらマルベリークラブ、尾道地域SNS研究会、街道ネットワーク尾道、にぎわいづくりネットワーク会議、石州街道・出口まちづくり協議会、じばびと@福山、この指とまれネットワーク委員会、道の駅赤来高原、井原線まちおこしネット、布野特産センター、(株)三次ワイナリー、備北観光ネットワーク協議会、平田観光農園、世羅高原農場、NPO法人元気むらさくぎ、綾目ふるりの会、室谷振興会、坪生郷土史研究会、福山食ブランド創出市民会議、神辺町観光協会、笠岡観光ボランティアの会 (立ち上げ時に協力頂いた団体を含む)

### 行政 銀山街道沿線市町等連携協議会

《委員》 (島根県) 大田市、飯南町、美郷町  
(広島県) 三次市、世羅町、尾道市、府中市  
(岡山県) 笠岡市  
《オブザーバー》 (広島県) 福山市、(岡山県) 井原市  
《顧問》 中国経済連合会、中国地方整備局、  
松江国道事務所、浜田河川国道事務所、  
三次河川国道事務所、福山河川国道事務所、  
岡山国道事務所、広島県、島根県、岡山県、



協働  
協力

## ■地域のねらい

- 中世を中心に銀を世界に運んだ「銀山街道」。この「銀山街道」という共通のテーマのもと、沿線の自治体や地域づくり活動者などが、一体となった広域的な地域づくりを目指す。



■これまでの活動



一、歩く、知る

「銀山街道」の全線を歩き、観光活用に向けたルートの確認、古道、石碑、史跡などの資源調査を実施。

3年がかりの検証の旅路は総延長約230km。沿線の自然や地形、関連する歴史も学びながら踏破しました。結果は「実録集」としてまとめています。

H27.9.19~9.22

大森~尾道 約150km 参加者:延べ31名

H28.10.29~10.30

宇賀~出口 約 40km 参加者:延べ43名

H29.5.27~5.28

出口~笠岡 約 40km 参加者:延べ42名



すげがさ姿で大森の街中を歩く参加者たち

銀の道3泊4日歩く旅

大森→尾道147.4キロスタート

広域連携 観光活用へルート検証

世界遺産・石見銀山遺跡の中心にある大田市大森町から広島県尾道市まで、江戸時代に銀を運んだルートに沿って、147.4キロを当時と同じ3泊4日でたどる「銀の道を歩きたび」が19日始まった。初日は大田市や美郷町、広島県世羅町など沿線7市町から20人が参加し、大森町をスタートして所々に残る古道などを歩いた。(福岡崇広)

参加者が歩くのは、日本風景街道に登録されている「石見銀山街道尾道道」。観光資源として活用していること、沿線市町の市民団体でつくる銀の道広域連携実行委員会が、ルートの検

大田

証を目的に初めて企画した。来年度以降、一般向けのウォーキングイベントを行う予定で、道を紹介するマップも作製する。この日は、同市大森町の石見銀山資料館前で、同館の仲野義文館長が「政治的にも経済的にも重要な道。当時のにぎわいを感じながら歩いてほしい」と激励。参加者は銀の道をPRするのぼり旗を掲げて出発し、古民家などが立ち並ぶ街中をゆっくりと進んだ。2日目を以降、一部メンバーが入れ替わるが、7人が踏破する予定という。企画した同実行委員会銀の道を歩きたび部会の岡本信正部会長(68)は「広島県世羅町は「健康づくりや歴史探訪に最適な道。多くの人に歩いてもらうことで、沿線の交流を活性化させていきたい」と話した。





■これまでの活動

二、見てもらう、知ってもらう

「銀の道を歩く旅」の成果をもとに、拠点スポットの紹介や区間ごとの距離・勾配、沿線の史跡の写真・解説等を盛り込んだ「ウォーキング&サイクリングマップ」を製作・配布(3分冊で全線を網羅)しました。



配布先

連携協議会8市町、実行委員会メンバー、観光協会等

印刷部数

2019年まで:150部、2020年:200部

街道整備

旧街道の調査や整備(草刈り等)を行い、分岐点などに道しるべ看板を設置。





## 令和元年度の活動

### 銀の道 行事一覧(令和元年度)

関係団体	行事	内容	日程	参加人数
ちゅうごく街道交流会議	ちゅうごく街道交流会議	銀の道広域連携実行委員会として出席	7月1日 (月)	100
銀の道を歩く会	第14回例会(粕淵～沢谷)	尾道～大森まで歩く行事の一環	9月28日 (土)	20
赤名地域まちづくり連絡会	第13回銀山街道ウォーキング	銀山街道ウォーキングコースHP他	10月6日 (日)	50
美郷町役場(観光協会)	令和元年島根県日本遺産セミナー	東洋大学丁野教授の講演を聴講 日本遺産選定委員会からのヒアリング	11月15日 (金)	50
銀の道広域連携実行委員会	府中市坂根越えウォーク	府中の難所坂根峠を越えるイベント	11月30日 (土)	30
銀の道広域連携実行委員会	イベント記念総会と懇親会	行事後の意見交換会	11月30日 (土)	30
美郷町役場(観光協会)	石見銀山街道ウォークイベント	やなしお道を牛と一緒にウォーキング	12月15日 (日)	100
銀山街道沿線市町等連携協議会	令和元年度総会	令和2年度の事業計画、予算の審議	2月4日 (火)	20

### 銀山ウォーク

石見銀山街道の沿線地域における街道の認知度の向上、沿線地区住民の待望機運の醸成を目的として開催しています。

令和元年12月15日(日)

#### 「令和の差立」国史跡石見銀山街道を往く

場所：島根県美郷町

参加：約60名

- ・当時の銀の輸送隊を模した衣装に仮装し、約4時間の「差立」(輸送)を体験



牛と一緒に歩くことで歴史を体感

令和元年11月30日(土)

#### 府中市坂根峠越えウォーク

場所：広島県府中市

参加：約20名

- ・難所「坂根峠」越えの約10kmを4時間半かけてウォーキング
- ・参加者にカレンダーを贈呈



ウォーキング後に総会&懇親会(カラオケ)

## 令和2年度の活動

### 銀の道 行事一覧(令和2年度)

月日	行事	内容	団体・場所	備考・参加者
令和2年4月19日	銀の道を歩く会第15回例会	美郷町別府～粕淵ウオーク	銀の道を歩く会	次年度延期
令和2年5月9日	銀山街道再整備(布野地区)	三次市布野町地区案内板	上布野自治会	中国新聞掲載
令和2年6月20日	銀山街道日本遺産ならず	石見大森～尾道湊申請却下	島根県広島県	中国新聞掲載
令和2年7月26日	銀山街道草刈り	尾道市畑地区整備	尾道ルートを保存する会	中国新聞掲載
令和2年8月22日	銀の道広域連携実行委員会役員会	今年度下期の方針	世羅町甲山自治センター	
令和2年9月27日	銀山街道道づくり	尾道市宇根地区整備	銀山街道保存会	中国新聞掲載
令和2年10月11日	石見銀山街道に関する展示	三次市吉舎地区の展示	三次市吉舎歴史民俗資料館	パンフレット配布
令和2年11月1日	石見銀山ウオーク2020	石見銀山から五十猛大浦 他	石見銀山ガイドの会	次年度延期
令和2年11月8日	銀山街道道づくり	美郷町	銀山街道保存会	FB掲載岩谷氏
令和2年11月24日	2021年カレンダー完成	11/24会議で配布ほか	棗田会長宅	
令和2年11月24日	沿線市町連携協議会連絡調整会議	広域広報版について取り扱い	三次市役所	
令和2年12月1日	銀山街道 散策だより(メールマガジン)	銀の道関連活動のメルマガ(4号)	メール配信	70名
令和2年12月19日	銀の道広域連携実行委員会	案内板掲載範囲(案)を提示	世羅町甲山自治センター	12名



## 令和3年度の活動

### 銀の道 行事一覧(令和3年度)

月日	行事	内容	団体・場所	備考・参加者
令和3年3月6日	銀の道広域連携実行委員会事務局会議	今年度の方針	出口会長宅	10名
令和3年7月4日	三次地区広域案内板設置・除幕式	三次市布野において除幕式をした	三次市長・国土交通省事務所長他出席	関係者20名 中国新聞掲載
令和3年7月20日	銀の道広域連携実行委員会役員会	今年度の方針(広域案内板、バスツアー)	世羅町甲山自治センター	15名
令和3年9月28日	銀山街道道づくり	尾道市宇根地区整備	銀山街道保存会	20名 中国新聞掲載
令和3年10月3日	飯南町銀の道を歩く会「飯南町ウォーク」	飯南町赤名の周辺を歩く	飯南町銀の道を歩く会	50名の予定
令和3年10月9日	銀山街道道づくり	三次市布野地区整備	上布野自治会	10名の予定
令和3年10月10日	銀の道を歩く会第15回例会設置記念ウォーク	三次市横谷～道の駅布野	銀の道を歩く会	30名の予定

## 令和2年度～の活動

### 銀の道カレンダーの製作・配布



沿線市町の連携と魅力の発信を目的に製作・配布。それぞれの地域の美しい風景や名所が描かれた各月の挿絵や写真の製作は、直営で実施し、販売収益は活動資金に充当しています。

### 「銀の道」PR看板の設置 (道の駅との連携)



「銀山街道」の魅力を広く周知するための案内看板を、沿線の道の駅に設置する方向で、調整をすすめています。第一弾は中国建設弘済会の助成事業を活用させて頂き、三次河川国道事務所管内の道の駅に設置しました。



# ■第1号 銀の道広域案内板設置(道の駅「ゆめらんど布野」)

銀の道広域案内板の第1号として、三次市の道の駅「ゆめらんど布野」に広域案内板を設置。

除幕式には、三次市長、中国建設弘済会理事長にも、お忙しい中参列頂きました。



地域でも、「銀山街道」を知る、知ってもらう活動が広がっています。

■われら銀山街道調査探検隊  
(三次市立布野小学校5,6年生)



総合学習の時間で「銀山街道」を調べ、地域の人たちに伝える、広げることを目的に学習。



実際に街道を歩き、学習したことをまとめ、「ふるさと祭り」で展示、布野小フェスタ」でも発表。



## ■今後の活動の展開

### 一、歩く、知る

#### 銀の道縦断ウォーク

地域の案内標識を各地のわかりにくいところに設置



### 二、見てもらう、知ってもらう

#### 銀の道マップの作製、配布、増刷

道の駅など観光拠点に銀の道広域案内板設置  
銀の道カレンダーの一作製、配布、増刷



### 三、もっともっと知ってもらう、 人を呼び込む

観光バス会社に広宣

コロナ禍により  
銀の道ウォーキング  
が計画通り、開  
催できなかった

## コロナ禍において制限された活動

- コロナのまん延に伴い、協議調整がスムーズに進まなかった（特に県境を越えての参加者の招集がむづかしかったが、現在、メールなどを活用して取り組んでいる）
- 公共施設の設置について、管理者との協議に時間がかかった。（市町連絡協議会名を開催していただく中でメール会議にしたため、調整に時間を要したが、9市町で、合意形成をしていただき、その後はスムーズに進めることができた）
- 歩く会や、銀の道普請などの行事参加にあたって、コロナが影響し思うように人の確保ができなかった。（ワクチン接種者などの条件を付けて行事を実施するなど小規模化して再開しつつある）



○令和2～6年度銀の道広域連携実行委員会アクションプラン

令和2年度～6年度(計画)	
<b>【壺】</b>	<p>ツアーガイド養成、&amp;、連携の実査</p> <p><b>銀の道縦断ウォーク</b></p> <p>銀を運んだコース、代官が歩いた道を緩やかにあるく(一泊二日で歩く「年2回」)</p> <p>(銀の旅)①大森-十日市、②十日市-三次、③三次-世羅、④世羅-尾道、(代官の旅)⑤吉舎-府中、⑥府中-笠岡⑦大森-温泉津、鞆が浦</p>
<b>【貳】</b>	<p>ツアー導入に向けて</p> <p><b>観光バス会社に広宣</b></p> <p>①広電観光、②一畑観光、③中国観光、④おのみちバスにプレゼン</p>
<b>【参】</b>	<p>(施設整備) 銀の道広域の案内について</p> <p><b>道の駅など観光拠点に銀の道広域案内板設置</b></p> <p>①布野、②赤名、世羅、御調、府中・・・</p>
<b>【四】</b>	<p>(施設整備) 地域の案内標識整備</p> <p><b>地域の案内標識を各地のわかりにくいところに設置</b></p> <p>活動家の方が、道普請をしてくださっているところを中心に案内標識を整備していく</p>
<b>【五】</b>	<p>(広報媒体) マップの作製</p> <p><b>銀の道マップの作製、配布、増刷</b></p> <p>①大森・三次間、②三次・尾道間、③吉舎・笠岡間の3部作</p>
<b>【六】</b>	<p>(広報媒体) カレンダーの作製</p> <p><b>銀の道カレンダーの作製、配布、増刷</b></p> <p>大森～尾道、甲奴～笠岡の関係各地の風景を題材にカレンダーを作り有料頒布する</p>
<b>【七】</b>	<p>(連携) 銀の道広域連携について</p> <p><b>委員会・関係機関との連携会議・広報活動</b></p> <p>総会・市町会議・広報活動により関係各位と幅広く連携する</p>





## ■今後の活動ビジョン

### ●基礎的イベントの継続

地域の機運醸成、地域間の連携強化

### ●街道の維持・整備

歴史資源の保存と活用

### ●道の駅との連携

案内看板の設置・広域的な広報

### ●日本遺産登録申請に向けて

世界的な知名度の向上、活動資金の取得

### ●観光ツアー商品の開発

バス会社や旅行会社とのタイアップ

### ●来訪者の周遊促進のための企画

デジタルスタンプラリーなど

資金の確保が難しい。整備を必要とする旧街道は赤道や民地が多く、自治体の道路整備等の名目による協力が得られにくい。

### <支援やアドバイスが必要な分野>

- ①観光(企画・売り込み)
- ②広報(SNS活用)
- ③資金調達

具体的で効果的なツアー商品の開発、バス会社や旅行会社への売り込み、SNSや民間企画の活用など、基本的なノウハウや知識がない。



# 銀山街道・陰陽結ぶ銀の道

地域資源を活かした広域的な地域づくりを目指して



広域案内板記念ウォーク  
(R3.10.10)



ご聴講ありがとうございました